画面の見方

ゲームをプレイするなかで、何度も目にするのが「エピソード選択」と「オペレーション」の画面だ。それぞれの画面で表示される情報の役割をしっかりと覚えよう。

ふたつのゲームプレイ画面

「エピソード選択」の画面は、これからプレイするエピソードを選択するものだ。難易度の変更やハイスコアを確認したいときも、この画面で行なうことができる。

一方、「オペレーション」の画面は、手術の遂行に必要なすべての情報が数多く表示されている。それぞれの表示の意味をよく理解してから執刀に臨むようにしたい。

■エピソード選択画面／オペレーション画面の見方

エピソード選択画面

▶上画面

▶下画面



オペレーション画面

▶上画面

▶下画面



1 クリアデータ
下画面で選択しているエピソードのクリアデータを表示。ハイスコアは難易度ごとに保存される。

2 Difficulty
現在のゲーム難易度を表示。選択中の難易度が緑色で表示される。

3 Chapter
現在選択中のチャプター数。

4 ストーリーパネル
選択中のストーリーパネル。一度パネルを選択すると緑色で表示され、再度タッチするとそのエピソードが始まる。

5 Operation Rank
各ミッションでのクリアランク。クリア時に獲得した評価のなかで、いちばん高いランクが表示される。ランクの種類については26ページを参照。

6 スクロールバー
スクロールバーをタッチしたまま、続けてスライドさせると画面をスクロールさせることができる。✚ボタンの上、下でもスクロールは可能。

7 Stage Score
現在の得点。手術の状況によって得点が加算されていく。

8 Chain/Max
現在のChain数（左側）と最大Chain数（右側）。手術の状況によってカウントされていく。

9 Time Limit
各手術の制限時間。

10 オペレーション情報
助手や仲間の医師から発せられる情報。執刀に関する注意点やさまざまな情報が表示される。

11 VITAL
患者のバイタル値。最大値が99以下の場合、ゲージ上に緑色のラインが表示され、その地点がバイタルの最大値であることを示している。

12 器具アイコン
手術で使用する各器具のアイコン。タッチするとその器具を使用できる。

13 追加トレイ
人工膜やリード線など、患部の処置に必要なアイテムが置かれるトレイ

14 回収トレイ
回収したい異物を乗せるトレイ　器具のピンセットで異物をつかむと出現する。

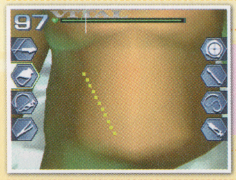
15 SKIP
SKIP機能を使用していると表示されるアイコン。SKIP機能使用中は手術時に発生するカットインをとばすことができる。

器具

手術を手際よく進めていくには、まず使用できる器具の役割を把握し、使用方法を覚えておく必要がある。ここで各器具に関する基礎知識を身につけておこう。

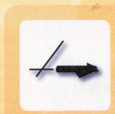
基本器具と特殊器具を巧みに使い分けよう

手術では、８つの基本器具といくつかの特殊器具を使って患部の治療を進めていくことになる。画面の左右には基本器具と超執刀（25ページ参照）の器具アイコンがそれぞれ配置されており、そのアイコンをタッチすると選択した器具が使用可能になる。特殊器具は特定のタイミングで出現する器具で、そのとき以外に使用することはできない。特殊器具のなかには器具アイコンが表示されるものがあり、そのアイコンは画面右下（注射器アイコンの下）に配置される。以下の各種器具解説では、８つの基本器具と特殊器具に含まれる要素をまとめ、使い方とその効果を解説する。



各器具アイコンは毎回同じ場所に配置されており、選択している器具は、器具アイコンが白色のバーに囲まれる。

（各種器具解説）



▼名称

レーザー

Laser

小さな腫瘍や体内に寄生するギルスを焼却する際に使用する器具で、タッチし続けるとその部分にレーザーを照射し続ける。スライドさせても照射し続けるので、動くギルスの追撃が可能だ。ただし、異常のない部位に長時間照射すると臓器にレーザー痕が発生することがあるので、無闇に同じ場所を照射し続けるのは避けたい。

◎扱い方

患部をタッチする



おもにギルスを焼却する際に使用する器具。照射し続けてもバイタルは低下しないが、臓器を傷つけることがある。



▼名称

ヒールゼリー

Antibiotic gel

小さな傷を瞬時に治療するほか、消毒や人工膜を定着させる効果もある万能薬。タッチした部分にヒールゼリーのエフェクトが広がり、タッチした状態からスライドさせれば広い範囲に塗布することも可能。また、エフェクトが表示されているあいだはバイタルの低下を抑えたり、ギルスの動きを止める効果もある。

◎扱い方

患部をタッチする



ヒールゼリーを塗ると緑色のエフェクトが広がる。塗り続ければ、バイタルを回復させることも可能だ。